

安全・安心な医療提供支援システムの構築

個人毎のデータに基づいた個別化医療支援システム

技術分野分類 1302：医用システム

技術キーワード G：医療情報システム

産業分類 P-83：医療業、G-39：情報サービス業

内 容	概要	個人毎の健康データを長期に亘って管理し、蓄積された過去のデータから将来の健康リスクを個人毎に予測し、疾病予防や重篤化防止に活用するためのシステムを研究・開発・活用している。また、症状や兆候を入力すれば疑われる疾患や疾患関連データを提示するシステムと連動し、個人毎の気づき、生活習慣の管理、行動変容支援に活用可能である。
	従来技術・競合技術との比較（優位性）	個人毎に現在の健康状態から将来の健康リスクを予測する技術や、健康・医療情報を自分自身で管理し、病気の予防、医療機関受診時の活用、又は調剤薬局の薬剤師に提示できる仕組みの開発を行っている（図1参照）。また、医薬品の副作用の報告書を収集・分析することにより、副作用毎にできるだけ早い段階でその原因を発見する技術について研究と開発を行っている（図2参照）。
	本技術の有用性	大規模な医薬品有害事象報告書データベースを構築し、データの分析を通して医薬品を適切に使用できる環境の構築と整備に貢献できる。また、健診データや診療報酬明細書データを大規模に蓄積・分析できるシステム環境を構築しており、地図情報システムと組み合わせて活用する応用分野を検討中である。
関連情報 (図・表・写真等)		<p>図1. 個人毎の体質に応じた個別化医療支援システムの開発</p> <p>図2. 大規模医薬品有害事象 DB の構築と原因候補医薬品の抽出機能開発</p>
適用可能製品		<ul style="list-style-type: none"> 企業での職員の健康管理に利用可能、企業健保組合の産業医が活用可能 個人で、自身の健康・医療データの管理・活用に利用可能 地域医療連携システムで運用可能
技術シーズ 保有者	氏名 所属・役職	紀ノ定 保臣 岐阜大学 大学院医学系研究科 医療管理学講座 医療情報学分野 教授
技術シーズ 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	岐阜大学 産官学融合本部 058-293-2025 / 058-293-2022 yugo@gifu-u.ac.jp

■知的財産 WO2009/041534 磁気共鳴イメージング装置及びその作動方法、画像診

断システム並びに診断方法 紀ノ定保臣 他

■試作品状況 無 提示可 提供可

作成日 2011年11月1日